

2020年 春号  
としょかんだより

TSUBAME  
LIBRARY

燕市立図書館

VOL. 16

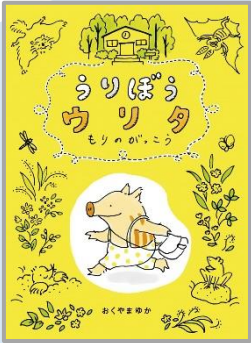
灰色の冬が終わる3月、桜がキレイな  
ピンク色の花を咲かせます。



『さくらがさくと』

とうごう なりさ//さく、福音館書店  
E/T (低学年向け)

くいしんぼうであわてんぼのウリタ。  
春から通い始めた学校では、  
毎日たのしいことがいっぱい！



『うりぼうウリタ』

—もりのがっこう—

おくやま ゆか//作、偕成社  
K 913/才 (低学年向け)

あ、春だ！何を読もうかな？

私たちの生活には多くのエンジニアが関わっています。  
電気や飛行機など歴史を変えるほどの発見の他に、自分  
で試せる実験もたくさん紹介されています。



『エンジニアになろう!』

—つくってわかるテクノロジーのしくみ—

見たい、知りたい、ためしたい—

キャロル・ボーダマン//監修  
後藤 真理子//訳、化学同人  
K 500/I (高学年向け)

新しく入った  
おススメの本

トウトウルはじゃがいもという意味の名前の女の子。  
村の外れに住む不気味な藍はあさんは子ども  
を食べるといいうワサです。本当なのでしょうか？



『精霊のなみだ』

トウトウルとふしぎな友だち—  
湯湯//作、高野 素子//訳  
平澤 朋子//絵、あかね書房  
K 923/才 (中学年向け)

イースターエッグはうさぎが運んでくると言われています。  
うさぎのアポット一家はエッグの  
ように絵を描いた車で旅行に出かけると...



『みならいうさぎのイースターエッグ』

エイドリアン・アダムズ//作・絵  
みはら いずみ やく  
三原 泉//訳  
徳間書店、E/A (中学年向け)

お父さん  
お母さんにも  
おすすめ◎

『100年の旅』

ハイケ・フォーラ//文、ヴァレリオ・ヴィダリ//イラスト、  
前田 まゆみ//訳、かんき出版、726/才

1ページで1歳ずつ年をとる、絵日記のような本です。  
人生100年時代の現在ですが、生きることは大変なことばかりではなく、シンプルな喜びに満ちています。

盲導犬は目の、聴導犬は耳の不自由な人を助けてくれます。そんな「補助犬」の仕事を紹介してくれる1冊です。



『はたらく犬たち』

—盲導犬・聴導犬・セラピードッグほか—  
公益財団法人 日本盲導犬協会、  
公益社団法人 日本聴導犬推進協会、  
社会福祉法人 日本介助犬協会、  
公益社団法人 日本動物病院協会//監修  
アルバ//編、金の星社、K 645/ハ (高学年向け)

裏面は図書館の使い方とイベントのご案内！